

草原に咲く高山植物と展望の山 平 票 山 (1,983m)

実施日 2023年5月31日 (木)
 天 候 晴れ
 リーダー 宮崎 敏男
 参加者 宮崎 敏男 計1名
 費 用 JR 4,697円(片道・立川～越後湯沢) 1,320円 (越後湯沢～登山口・往復) 計6,017円
 タイム 越後湯沢発(8:20) 登山口(9:00) 松手山(10:55) 平票山(12:45～13:30・昼食) 平票山乃家(14:10～45) 林道～登山口(15:30) 平票登山口(16:20～55) 越後湯沢(17:33)

梅雨(台風も)の訪れ早く天候不順が予想される6月、2日続きの晴れを求め日程を早めた。

国境の長いトンネルを抜けるとそこは夏山だった。青葉と青空が眩しい。

久しぶりのソロ登山、楽しさは静かな一歩から。松手山コースは初めから急登。2合目を過ぎると樹林の切れ目から眼下に苗場スキー白亜のホテル群



と遠くまだら雪化粧の苗場山が見えて来た。コース中間の巨大な鉄塔はいかにも三国国境越えの送電施設。

急登が尾根に到達したところが6合目松手山(1613m)ここを過ぎると樹林も切れ平票山の雄大な姿と越後の山並み展望が広がる。開放的な稜線歩きの始まりだ。

7合, 8合目辺りからの急な木道で高度を上げる。やがてアズマシャクナゲのピンクの蕾と白い花がそこかしこに、これとコラボしてミネザクラの淡いピンク。さらに進めばシラネアオイのうすむらさきの花が、又、白山一花(イチゲ)の可憐な白い花が、平票山の嫺やかな山容をバックに楚々と咲いている。ああ、お花畑スポットに入ったのだな。

この頃稜線をガスが横切り、頂も覆

い始めた。階段を上り詰めたところが平票山頂。

谷川岳・万太郎山・仙ノ倉山とつながる谷川連峰の西端。群馬県境稜線トレイルがここで左に折れ三国山、三国峠へとつながる。



谷川連峰最高峰は仙ノ倉山(2026m)、平票山(1983m)谷川岳(1977m)と続く。

山頂からの展望が得られなかったのは残念。当初予定していた仙ノ倉山へのピストンは明日の大源太山登山を考慮して(高齢なんだから!との複数アドバイス)取り止めたのは残念至極! 仙ノ倉山のお花は次の機会までお預けとしよう。



山頂から平票山乃家への下山は長い長い幅広の木の階段。立派なものだ。

山頂で新潟ハイカーに教わった通り、

やがてアズマシャクナゲの大群生が現れた。天気も嘘のように青空に変わり平標山、仙ノ倉山その奥の万太郎山の雄大な山容が目前に迫り苗場、三国の山並みが広がる。

山小屋はその絶景ポイントにあり、止めどない湧き水(仙平清水)と居心地いいベンチはおすすめ。つい長居してしまう。



下山の平元新道は小屋前から谷へ向かう山道、ゴロ石のつづら折り道が続く。

春蝉と山鳥の奏でるBGMが疲れた体にいい案配だ。

やがて(林道)登山口へ到着。ここからバス停登山口までは木材切り出しトラックで踏み固められた岩魚沢林道歩き。

バス時刻に30分早く下山。概ね天候に恵まれた花の名山のイイ山旅だった(シャクナゲは今が外せない、高山の花々はこの先2週間が見ごろと新潟ハイカーのお言葉でした)

さあ明日も好天気でありますように!
(記&写真・宮崎 敏男)